研究所だより

ひと言の重さ・・・

～ その二 ～

終わったら一目散に体育館へ向かい、シュート練習が集まる毎日くらいになるばかりの中学校バスケットボールの顧問をしている高校時代に、ドリブルの先生は「一生懸命やってきちょうがやけん、自信もってやったらできるがぞ」というひと言をかけてくれました。それまでは、自信もってやったらえいけん、交代して試合に出れ」という言葉をかけてくれていたのですが、それを拒んできた自分もありました。その時やっと、その言葉の意味がわかったように思います。

こんな高校時代を過ごして大学へ・・・そこでもやっぱりバスケットを続けていました。

～次号へ続く

（文責・山﨑）

（発行）土佐清水市教育研究所
二〇〇八年六月三日
第二六八号
問い合わせ（八二）三〇一六

舞い上がってしまい、ほとんど覚えていない状況だったのですが、なんと十八得点したのです。その時、顧問の先生は「一生懸命やってきちょうがやけん、自信もってやったらできるがぞ」というひと言をかけてくれました。それまでは、「自信もってやったらえいけん、交代して試合に出れ」という言葉をかけてくれていたのですが、それを拒んできた自分もありました。その時やっと、その言葉の意味がわかったように思います。

こんな高校時代を過ごして大学へ・・・そこでもやっぱりバスケットを続けていました。

～次号へ続く

（文責・山﨑）

教育研究集会
一日教研の日程です。

一日教研

八月二十二日（金）

午前八時五〇分～受付

【講演】午前九時～

市民文化会館

演題「自閉症が変わるとき」
～子どもの願いに寄り添って～

講師　佐藤　比呂二　さん

【部会】午後一時三〇分時～

※会場、部会内容については、後日配布の開催要項をご覧ください。